

2022年度学校評価 自己評価及び学校関係者評価

父母の皆様には幼稚園の働きにご理解とご協力をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。
新型コロナウイルス感染防止のための自粛要請により、今年度も幼稚園の活動の見直しをせざるを得ませんでした。行事は極力中止しないで、感染防止対策を十分に取りながら実施しました。

12月に実施しましたアンケートでは、保護者の皆様から概ね良好の回答を頂き、教職員一同安心したところです。幼稚園ではよりよき保育を目指して、これからも様々なことを点検・検討し、保育に反映させていきたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

学校教育法に基づき2022年度学校評価（自己評価及び学校関係者評価）を公表いたします。

本園の教育目標

キリスト教が示す神の愛と、神から与えられた命の尊さを知り、感謝し共に生きる喜びを味わい、愛と自由と希望に生きる主体的で豊かな人間性を養うことを目指す。

＜理想とする子ども像＞

1. 「光の子ども」
光の持つ優しさ、強さ、ゆたかさ、輝きをもつ子ども
2. 「人を愛する子ども」
自分と同じように人を愛する子ども
3. 「自分でできる子ども」
自分のことは自分でやり、最後まで頑張る子ども

1. 2022年度 必要と思われる評価項目

1. 保健衛生管理/安全・危機管理の改善
2. 教師の研修と保育内容の点検
3. 地域交流の充実
4. 子育て支援機関との連携

2. 本年度重点的に取り組むことが必要な評価項目とその理由

<p>1. 保健衛生管理/安全・危機管理の改善 園が保健衛生管理の改善を意識的に行うことによって、それが見本となって、園児が感染症（新型コロナを含む）の適切な予防対策を知ることにつながると考えます。 また、安全交通教室や避難訓練によって、園児に安全・危機管理を学ばせることは、緊急時の行動を身につけさせることであり、平時から繰り返し行うべきものであるとも考えています。</p> <p>2. 教職員の研修会参加と保育内容の点検 教職員は研修会を通して、自身の保育内容を吟味し、改良を重ねることを目標とします。 なぜなら、本園では、園児達の良き成長の為には、教職員が常に自己研鑽に励む必要があると考えるからです。</p> <p>3. 地域交流の充実 本園では、園児や未就園児、保護者の良き交流の場・育児相談の場であることを目標としています。そのため、園内だけで活動を完結させず、地域の方々との交流を目的とした活動を充実させたいと考えています。</p> <p>4. 子育て支援機関との連携 町内の教育委員会、小学校、通所施設、保健所などの各機関との連携を大切にすることは、在園中の園児や保護者の不安（進学や子育て全般の悩み）の解消につながるのではないかと考えています。また、小学生と年長児との交流の機会を、小学校と相談しながら持ちたいと思います。</p>
--

3. 学校評価の具体的な目標や取り組み方

項目	内容
1	<p>a.に関して、感染症予防のため、CO2計測器にしたがって、換気を行います。夏での外活動では、マスクを外して、熱中症の対策を行います。</p> <p>b.に関して、岩内警察署の協力のもと、交通安全指導を行います。</p> <p>定期的に、避難訓練を行って、緊急時の避難行動を繰り返し練習します。</p>
2	<p>幼稚園教諭1種免許状取得を目指す教諭には、奨学金を支給して取得を奨励します。また、教師は、北私幼・全日私幼・文科省主催の研修（オンラインを含む）に積極的に参加します。教師は、保護者に研修内容を共有して、自身の得た知識のアウトプットの場とします。なお、今年度も老人施設への園児の訪問は中止とします。</p>
3	<p>本園独自の工夫を凝らしながら地域開放を企画します。地域開放は、在園児とご家族だけでなく、町内の未就園児とご家族も対象とし、子育て相談の機会として十分に機能させるために、参加予定人数よりも多めに本園の教職員を配置します。</p>
4	<p>教師は、発達支援を必要とする子どもの保護者のよき相談相手となることを目指します。また、園児や保護者が公的機関の支援をスムーズに得るために、教職員の中から、町内の諸関係機関とご家庭との関係を取り持つ調整役を設けます。さらに、小学校の先生による園児（主に年長児）の園活動の見学や、現役小学生（卒園児）と園児との交流という機会を設けることによって、幼小連携の強化を図ります。</p>

4. 重点項目の評価

1	<p>◎a～bは、計画通り実施しました。本項目に関連して、22年度、外部講師を呼んで行う必要があったAED講習を教職員で行うことができなかった（新型コロナの感染予防の為）、23年度には必ず実施したいと思います。</p>
2	<p>●2022年度 研修会報告</p> <p>☆4/15 岩内町「ことばの教室」の実情や利用に関する研修会 出席者：井家</p> <p>☆7/28 特別支援教育コース 出席者：七海</p> <p>☆8/2 キリスト教保育連盟後志地区研修会「つながって」から子供を取り巻く保育者と保護者の関係、子どもと子どもの関係、子どもと保育者の関係などの視点から。 講師：札幌国際大学 蔵満保幸氏 出席者：金澤・高橋・大場・手塚・井家</p> <p>☆8/3 2022年度北海道部会講習会「愛されていることを知り、愛する者となるために」 幼稚園・保育園・認定こども園チームワークのためにしておくべきこと 講師：釜土達雄氏 出席者：金澤・七海・高橋・大場・手塚・井家</p> <p>☆8/8 幼児教育中堅保育者資質向上研修1期 出席者：手塚</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育施設におけるアレルギー対応 ・幼児教育施設における乳幼児の安全確保 ・幼児教育の実際 ・教育課程の編成・実施と学校評価 I ・幼児教育の現状と課題 ・幼児教育への期待 ・幼児教育施設における虐待の早期発見 <p>☆8/27 第64回北海道私立幼稚園教育研究大会 出席者：金澤・七海・高橋・大場・手塚・井家 道央ブロック大会「新しい時代を伸びやかに生きる」～社会に開かれた質の高い幼児教育を～</p> <p>☆9/2 令和4年度幼児教育の質の向上に関する研究協議会 出席者：高橋</p> <ul style="list-style-type: none"> 「幼児教育の現状と課題」 「都道府県協議会競技主題について」 「幼児教育と小学校教育の架け橋委員会における論議等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について」 「指導計画の作成と保育の展開、指導の課程の評価・改善について」 <p>☆9/28 令和4年後志教育研修センター「幼保小の連携」研修講座 出席者：高橋</p> <p>☆1/6 第49回キリスト教保育連盟北海道部会幼児教育センター 「昔ばなしが語る子どもの成長」 講師：小澤俊夫氏</p>

	<p>「神様のまなざしはいつも世界に向かって」 講師：笹森田鶴氏 出席者：金澤・七海・高橋・大場・手塚・井家</p> <p>☆1/10 令和4年度北海道幼稚園教諭中央リカレント 北海道私立幼稚園冬季教員研修会 「新しい時代を伸びやかに生きる」～社会に開かれた質の高い幼児教育を～ 「乳幼児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達」 講師：遠藤利彦氏 分科会「乳児の発達の基本を織る」 「遊びと環境構成」 出席者：七海・高橋・大場・手塚・井家</p> <p>☆1/12 ハラスメント防止研修会 川村鯉江氏 出席者：金澤・七海</p> <p>☆1/13 幼児教育中堅保育者資質向上研修Ⅱ期 出席者：手塚 ・ミドルリーダーとしての資質向上と園内研修 ・教育課程の編成・実施と学校評価（幼小連携・接続の推進） ・指導計画の作成・展開と保育の反省・評価 ・子育て相談や教育相談の進め方 ・幼児教育施設における働き方改革 ・幼児教育施設における特別支援教育</p> <p>☆2/4「幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修」乳児保育 出席者：七海</p> <p>☆3/4 全日幼 職員による子供の虐待を予防するために～不適切な教育・保育を予防するために～ 出席者：七海</p> <p>●特別支援学校教諭2種免許状取得 取得者：大場 特別支援教育論 2単位 知的障害教育総論 2単位 肢体不自由教育総論 2単位 病弱教育総論 2単位 視覚障害教育総論 2単位 聴覚障害教育総論 2単位 発達障害概論 2単位</p> <p>◎22年度の研修会はそのほとんどがオンデマンドやZOOMを使用しての研修でした。対面での研修会も徐々に始まってきています。科目履修生として、大学の授業を受講し、幼稚園教諭1種免許や特別支援学校教諭2種免許の取得に励む教師もいました。そして、大場教諭は特別支援学校教諭2種免許を取得することができました。22年度も充実した研修の機会を通して、教職員それぞれが積極的に学習に取り組むことができました。</p>
3	<p>●2022年度地域開放の報告</p> <p>5/14 園内での自由遊び</p> <p>6/11 おはなし会 歌遊び 「子犬のBINGO」 パネルシアター 「かき氷ハウスへようこそ」 ロールペーパーシアター 「ぐるりん ラグリん」 スケッチブックシアター 「変身カメレオン」 「楽しいガチャガチャマシーン」</p> <p>7/9 お楽しみ会 わたあめ・おかしつり・ヨーヨーつり・射的 幼稚園でお祭りを楽しみました。</p> <p>8/20 水遊び 園庭で水遊びを存分に楽しみました。</p> <p>10/8 パフォーマーKUROさんの「マジカルパフォーマンス」</p> <p>11/12 クリスマスの飾りを作ろう！ 思い思いにクリスマスの飾りを制作しました。</p> <p>◎22年度も参加される方は少数でしたが、年々参加者は増えてきています。また、今年度も、地域の皆様の交流の場として、小さいお子さんから大人まで楽しむことができる企画を実施できたと思います。特に、お楽しみ会として、幼稚園で夏まつりを開くことができました。在園児だけでなく、卒園児や町内に住むご家族が参加され、良き交流の場となったと思われまます。今後とも、子どもと大人が楽しめる活動を計画し、沢山の方々に幼稚園を知ってもらいたいと思います。その中で、地域開放の活動が子育て相談の機会となり、在園児・卒園児・地域のご家族の支えとなることを願っています。</p>
4	<p>●町内の諸機関との調整を以下のように行いました。</p> <p>☆小学生へのスムーズな移行を目指して、西小学校のコーディネーターを授業見学に招き、年長組の園児の普段の様子を確認してもらいました。</p> <p>☆幼小連携の企画として、西小学校の小学生（卒園児）を招き、小学校での学びや生活について発表してもらうことができました。園児が小学校の生活を意識し、進学への期待を膨らませることができました。</p> <p>◎主に、小学校と連携をして、年長児の普段の様子を確認してもらうことができました。年長児やその保護者にとっても、小学校の先生が入学前の園での様子を知っていてくれる安心感があると思います。また、小学校での学びや生活について、西小学校の小学生（卒園児）から聞くことができたことも、年長児にとって、進学する楽しみへと繋がったように見受けられました。23年度も引き続き、小学校との連携を強めていきたいと思ひます。</p>

5. 学校関係者評価（保護者）

	評 価
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保健衛生管理については、このコロナ禍で先生方には大変、対策や子ども達の日常の活動を継続するため、心を砕いていただいていたと思います。感染症の拡大を防ぐため、クラスの閉鎖を決めるタイミングや保護者への連絡も迅速で、感謝しています。 ・危機管理対策については、警察の方にも協力いただくなど、より子どもたちも先生方も効果的な交通安全の知識などを習得できると思いますので、今後も続けて欲しいと思います。 ・たびたび延長保育を利用させてもらい、子どものお迎えの時先生方が一生懸命、床のお掃除をされていて、とても清潔感がありました。衛生管理がしっかりしていて、こどもも感染症になることなく、安心して過ごすことができたと思っています。 ・定期的に避難訓練を行ってくれているので、家に帰ってきてもやるくらい身につけている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の先生方が研修会に参加され、すごく熱心だと思います。 ・研修会後の資料は大変勉強になり興味深い内容ばかりでした。 ・お忙しい中、どの先生方も積極的に研修会に参加し、より良い幼稚園教育を実践していただき、頭が下がります。私たち保護者にも研修会の報告をしていただくことで、保護者にとっても子育ての参考となり、先生方にとっても知識をより自分のものにもつながると思いますので、大変だとは思いますが、今後もぜひ、続けてください。また、上の免許状取得に励む先生に奨学金を支給する取り組みは本当に素晴らしい良い制度だと思います。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・本来なら先生方も休日のところ、地域開放を催してくださり、ありがとうございます。毎回、テーマを決めて工夫されていて、本当に参加者を楽しませてくれています。卒園児にとっては、大好きだった幼稚園や先生方とまた遊べる嬉しい機会となりますし、これから入園を考えるお子さん、保護者にとっては、岩内幼稚園の雰囲気を感じられる貴重な機会となりますので、これからもよろしくお願いします。来年度はコロナの規則も緩くなるとおられますので、より地域にオープンな企画と PR ができると良いですね。 ・コロナで中止になったりと、2回ほどしか参加したことはありませんが、地域開放、とても楽しく過ごさせていただきました。なかなか自宅では経験させてあげられない内容ばかりでとてもよい企画だと感じました。 ・あまり参加したことがありませんが、いつも楽しそうだなあと感じます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携はすごくいいと思います。最初、子どもは小学校に行くのを不安に思っていたのですが、いろんなことを聞いて、今では小学校に行くのを楽しみにしています。引き続き継続をお願いします。 ・先生方はクラス問わず、本当に子どもたちをよく見ています。話を聞いていただき、よりそってくれて支えてくれています。 ・小学校のお兄さん、お姉さんが幼稚園に来てくれた時、とても喜んで帰ってきた記憶があります。小学校とはどういうところかを兄弟以外の小学生から聞くという機会はなかなかないので、小学校へのかけはしになってよいと思います。 ・調整など、大変とは思いますが、小学校との連携は大切だと思いますので、積極的に行っていただくと保護者としては助かります。せっかく幼稚園で学んだことや、お友だちとの関係性など少しでも小学校へつながれば、子どもたちのよりおおきな成長に期待できると思います。「卒園したら終わり」ではなく、その後のこどもたちの生活や成長を想って、小学校につないでくださろうとしてくれる幼稚園の方針は本当に素晴らしく有り難く思います。また、卒園児を招いて年長児と交流することも、お互いの子どもたちにとって成長の良い機会だと思いますので、是非続けてください。